

カブドットコム証券株式会社
 (コード番号：8703 東証1部)
 代表執行役社長 齋藤 正勝

2010年11月15日

一般信用売建可能銘柄数を主要ネット証券最多の557銘柄に拡大

～ マクドナルド、グリーン、DeNA等、非貸借銘柄も20銘柄とネット証券最多/つなぎ売りキャンペーン実施中 ～

カブドットコム証券株式会社は、2010年11月15日(月)から、長期信用取引(一般信用取引)の売建可能銘柄に、制度信用で新規売建が出来ない非貸借銘柄(DeNA、平和、NECフィールディング、アース製薬、住商情報システム)を含め新たに18銘柄を追加し、557銘柄にいたします。これにより当社は主要ネット証券最多の売建可能銘柄数を継続しています。

合わせて、2010年10月1日(金)～2010年12月31日(金)までの間、「つなぎ売りで賢く信用取引キャンペーン」を実施しております。

【非貸借銘柄：制度信用で新規売建が出来ない銘柄】(20銘柄 銘柄コード順)
 NECフィールディング(東証：2322)、DeNA(東証：2432)、ポイント(東証：2685)、日本マクドナルドホールディングス(JASDAQ：2702)、日本コークス工業(東証：3315)、グリーン(東証：3632)、パーク24(東証：4666)、オービック(東証：4684)、伊藤忠テクノソリューションズ(東証：4739)、ジュピターテレコム(JASDAQ：4817)、アース製薬(東証：4985)、電業社機械製作所(東証：6365)、平和(東証：6412)、ナカニシ(JASDAQ：7716)、加賀電子(東証：8154)、あおぞら銀行(東証：8304)、エヌ・ティ・ティ都市開発(東証：8933)、ケネディクス不動産投資法人 投資証券(東証：8972)、電源開発(東証：9513)、住商情報システム(東証：9719)

【主要ネット証券一般信用新規売建取扱状況】

一般信用	カブドットコム	松井	SBI	楽天	マネックス
売建可能銘柄数	557銘柄	475銘柄	×	×	×

※2010年11月12日時点の各社ホームページを参照し当社作成。

●「つなぎ売りで賢く信用取引キャンペーン」を大好評実施中

期間	2010年10月1日(金)～2010年12月31日(金)	
内容	<p>【信用取引口座開設で】 信用取引口座開設で、先着3,000名様に、 「ネット時代を勝ち抜く 信用取引の奥義／新井邦宏 著」をプレゼント ※信用取引口座開設日の翌月上旬に登録住所へ送付いたします。</p>	

【信用取引・現物株式のお取引で】

(1)期間中、信用取引で新規売り約定を1回以上、かつ現物株式買付け約定1回以上のお客様60名様（毎月20名様）に、5,000円プレゼント



※当キャンペーンに当選された方は、当社の実施する他のキャンペーンに参加出来ない場合がございます。

●こんな使い方もできる「つなぎ売り」

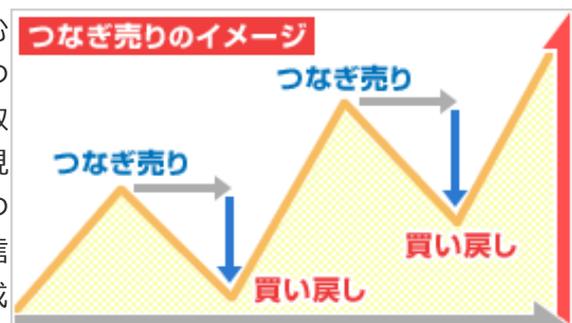
つなぎ売りとは、何らかの理由で売却ができないといった保有株に対して、信用取引の売りにより、利益確定させることをいいます。

【公募株でつなぎ売り】

公募株というのは通常、時価よりも安く、しかも手数料なしで購入することができます。しかし、買ってから売却可能日までの間売ることができないのが難点です。せっかく公募株式を購入したのに、売却可能日までの間に、値下がりしてしまうというケースも十分考えられます。このような場合、公募株で買った株を信用取引で売建てしておく手法が有効です。（つなぎ売りのイメージ）

【株主優待権利確定のつなぎ売り】

そろそろ売り時だと思っている株が、決算期をむかえ株主優待がもらえるといった場合にも、「つなぎ売り」が利用できます。権利確定前に信用取引でとりあえず売却しておいて、権利落日日に現物株を品渡すれば、株価の下落リスクを回避しつつ、株主優待も手に入るというわけです。制度信用取引でつなぎ売りを行う場合、逆日歩には警戒が必要です。逆日歩がつくと当然ヘッジコストが高くなることとなります。なお、一般信用取引で売建てを行った場合、逆日歩は発生いたしません。



●信用取引の委託保証金率30%

カブドットコム証券株式会社は、2010年10月1日（金）から、信用取引の委託保証金率を従来の33%から30%に引き下げております。この引き下げにより、信用取引において委託保証金の最大約3.3倍の建玉が可能となりました。

●カブドットコム証券の長期信用取引（一般信用取引）とは

カブドットコム証券の一般信用取引は、返済期限が最長3年の「長期信用取引」です。この「長期信用取引」は他社で「無期限信用取引」と呼ばれるものとほぼ同等であり、当社では信用取引の特性を踏まえて返済期限を最長3年としています。

●信用取引手数料体系

カブドットコム証券では、信用取引における「前営業日の建玉残高」または「前営業日の新規建て約定代金」に応じて安くなる手数料体系を採用しています。これにより、「頻繁に売買を繰り返し約定代金が大きくなるお客さま」や「高額な建玉を行われるお客さま」ほど、信用取引手数料が割安になります。

前営業日の建玉残高 または前営業日の新規建て約定代金合計

信用取引手数料体系		0円以上 3,000万円 未満	3,000万円 以上 5,000万円 未満	5,000万円 以上 7,000万円 未満	7,000万 円 以上
約定 代 金	50万円以下	483円	458円	338円	0円
	100万円以下	798円	758円	558円	
	200万円以下	987円	937円	690円	
	500万円以下	1,155円	1,097円	808円	
	500万円超～100 億円	1,260円	1,197円	882円	

※前営業日の建玉残高とは前営業日に返済されていない建玉総額。前営業日の新規建て約定代金合計とは前営業日の新規建て約定金額（売建・買建、内出来を含む）の合計です。

※前営業日の建玉残高と前営業日の新規建て約定代金の高い方を適用。

※当日6：00以降のご注文は自動的に手数料割引率が適用されます。

※信用取引は、割引プラン「[kabuマシンの日](#)」「[ファンドDE割引](#)」の対象です。

※手数料はすべて5%の消費税を含んでいます。

※取引チャネル、執行条件にかかわらず上記手数料が適用されます。

●リスク管理追求型「信用取引」サービス概要

	買建		売建	
	長期信用取引 (一般信用取引)	制度信用取引	長期信用取引 (一般信用取引)	制度信用取引
取扱銘柄	当社が指定する銘柄	取引所が指定する制度信用銘柄	当社が指定する銘柄	取引所が指定する制度信用銘柄
取引開始日	上場初日から	制度信用銘柄指定後	当社の銘柄指定後	制度信用銘柄指定後
返済期限	新規建玉の建日（約定が成立した日）の3年目応答日の前営業日	新規建玉の建日（約定が成立した日）の6ヶ月目応答日の前営業日	新規建玉の建日（約定が成立した日）の3年目応答日の前営業日	新規建玉の建日（約定が成立した日）の6ヶ月目応答日の前営業日
金利(年利)	買方金利：3.6%	買方金利：3.07%	売方金利：0.0%	売方金利：0.0%
貸株料	なし	なし	貸株料：1.50%	貸株料：1.15%
逆日歩	なし	証券金融会社が発表する金額を受取り	なし	証券金融会社が発表する金額を支払い

名義書換料 (税込)	1取引単位あたり52.5円(※1円未満は切り捨て)。ただし、大幅な株式分割が行われた場合などは当社の判断により減額させていただくことがあります。	なし
事務管理費 (税込)	建玉の約定日から1ヶ月経過するごとに1株あたり10.5銭(単元株制度の適用を受けない銘柄については1株あたり105円)。105円に満たない場合は105円、上限は1,050円。	
建玉上限	合計2億円(別途審査により建玉上限を変更することが可能です。)	
最低保証金額	両取引の保証金を合算して30万円	
委託保証金率	両取引の建玉を合算して30%	
最低保証金維持率	両取引の建玉を合算して25%	
保証金 代用掛目	<ul style="list-style-type: none"> ◆現金 100% ◆株券 前営業日の最終価格(気配)の原則80% (※銘柄ごとに個別の代用掛目が設定される可能性があります。) ◆投資信託 前営業日の基準価額の80%(一般型のみ代用可。累投型、MMF、中期国債ファンドは不可) 	

※上場廃止、株式併合、株式分割、権利処理等により、返済期限(期日)が前倒しする場合があります。

●信用取引はWEB上で、最短で即日、口座開設からお取引開始まで可能です

信用取引の口座設定約諾書の電子化により、当社に証券取引口座をお持ちであれば、WEB審査によって最短即日で信用取引や先物・オプション取引の口座開設、取引開始が可能となります。審査は原則24時間365日受け付けております。また、信用取引口座開設時に必要であった4,000円の印紙税も電子化により不要です。

【(例) 信用取引口座開設の流れイメージ】



わたしたちはMUFGです。